

『臨床遺伝専門医テキスト ①臨床遺伝学総論』

第1版第2刷 正誤表

このたびは上記書籍をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

本書に以下の誤りがございました。訂正させていただきますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

2022年10月27日現在

診断と治療社 編集部

ページ	箇所		誤	正																								
26	表 2	表	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>曝露あり</th> <th>曝露なし</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>疾患群</td> <td>15</td> <td>45</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>対照群</td> <td>10</td> <td>70</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>		曝露あり	曝露なし	合計	疾患群	15	45	60	対照群	10	70	80	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>疾患群</th> <th>対照群</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>曝露あり</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>曝露なし</td> <td>45</td> <td>70</td> <td>115</td> </tr> </tbody> </table>		疾患群	対照群	合計	曝露あり	15	10	25	曝露なし	45	70	115
			曝露あり	曝露なし	合計																							
		疾患群	15	45	60																							
対照群	10	70	80																									
	疾患群	対照群	合計																									
曝露あり	15	10	25																									
曝露なし	45	70	115																									
相対危険度の計算式	$\frac{\text{疾患群の曝露ありの人数}}{\text{疾患群全体の人数}} \div \frac{\text{対照群の曝露ありの人数}}{\text{対照群全体の人数}}$ $= \frac{15 \times 80}{10 \times 60} = 2.0$	$\frac{\text{曝露あり中の罹患者の人数}}{\text{曝露あり全体の人数}} \div \frac{\text{曝露なし中の罹患者の人数}}{\text{曝露なし全体の人数}}$ $= \frac{15 \times 115}{25 \times 45} = 1.53$																										
オッズ比の計算式	$\frac{\text{疾患群の曝露ありの人数}}{\text{疾患群の曝露なしの人数}} \div \frac{\text{対照群の曝露ありの人数}}{\text{対照群の曝露なしの人数}}$ $= \frac{15 \times 70}{10 \times 45} = 2.33$	$\frac{\text{曝露あり中の罹患者の人数}}{\text{曝露あり中の非罹患者の人数}} \div \frac{\text{曝露なし中の罹患者の人数}}{\text{曝露なし中の非罹患者の人数}}$ $= \frac{15 \times 70}{10 \times 45} = 2.33$																										